

# 2013年度 第19回 **FD** フォーラム

## 社会を 生き抜く力を 育てるために

龍谷大学 深草キャンパス

2014年 **2月22日(土)**

**23日(日)**

### 第19回FDフォーラム

## 社会を生き抜く力を育てるために

2013年6月に閣議決定された「教育振興基本計画」では、基本的方向性の1つに「社会を生き抜く力の養成」があげられている。他方、2012年8月に出された中教審答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」において、グローバル化や情報化の進展、少子高齢化、労働市場および産業構造の流動化等、社会の急激な変化に応じた大学改革に対する期待が、産業界や地域社会において高まっていることが指摘されている。大学はこのような変化や期待にどのように応えていくべきなのであろうか。

昨年度の第18回FDフォーラムでは「主体的に学ぶ力を身につけるには」と題して議論を行ったが、第19回FDフォーラムでは先の議論を引き継ぐとともに、将来の予測が困難な時代において、大学はどのように「社会を生き抜く力」を育成することができるのか、「社会」と「学生」という二つの観点から考えてみたい。

### タイムスケジュール

	時間	内容	場所	
2/22 (土)	12:00～13:00	受付	3号館	
	13:00～17:10	シンポジウムⅠ	3号館301教室	
		シンポジウムⅡ	3号館201教室	
17:30～19:00	情報交換会	22号館地下食堂		
2/23 (日)	9:00～10:00	受付	22号館	
	10:00～12:00	分科会【前半】※1)		
	12:00～13:30	昼休憩・ポスターセッションコアタイム※2)		
	13:30～15:30	分科会【後半】※1)		

※1) 申し込みされた分科会以外には参加することはできませんのでご注意ください。前半と後半は同じ分科会に参加していただけます。

※2) ポスターセッションは2日目の10:00～15:30にポスターを掲出します。コアタイムには、発表者がポスター前で参加者からの質問に答えます。

## 申し込み方法

### STEP1 お申し込み（先着順）

申し込み手続き完了後は、参加分科会の変更はできませんのでご注意ください。

- ① 右下の URL から、「メールアドレス確認フォーム」にアクセスし、メールアドレスを入力・送信してください。
- ② 送信いただいたメールアドレスに「参加申込フォーム」の URL をお送りします。
- ③ 記載の URL にアクセスし、画面の指示に従って申し込み手続きを行ってください。

※「参加申し込みフォーム」の URL の通知メールが届かない場合は、メールアドレス誤入力等の可能性があります。その場合はお手数ですが「メールアドレス確認フォーム」にメールアドレスを再入力・再送信してください。



### STEP2 参加費のお支払い

申し込み手続きが完了した方には、後日、郵送にて払込票（請求書）をお送りいたしますので最寄りのコンビニエンスストアで参加費の支払いを行って下さい。取り扱い可能なコンビニエンスストアは同封している払込票の裏面をご覧ください。

なお、銀行・ゆうちょ銀行などの金融機関ではお支払いができませんのでご注意ください。

また、お申し込み手続きと参加費のお支払いが完了していない方はご参加いただけませんのでご注意ください。

**【参加費支払締切：2014年2月4日（火）まで】**

※ お支払いいただく参加費につきましては、印刷費、Web システム運営費、通信費など、諸準備に使用いたしますので、いかなる理由があっても返金等には応じられません。予めご了承下さい。参加費をお支払いいただいたのち、やむを得ずご欠席された方につきましては、後日、FD フォーラム関連資料を送付致します。



### STEP3 参加証の受領

参加費の支払いが完了した方には参加証をメールにて送信します。2月15日（土）までに参加証（メール）が届かない場合は、FD フォーラム事務局までお問い合わせ下さい。



### STEP4 当日 参加証持参

当日はプリントアウトした参加証（メール）を持参し、受付にて提示して下さい。

※代理の方が参加される場合は当日の受付にてお申し出下さい。

## 申し込み期間

2014年 **1月8日（水）** ～ **1月24日（金）**  
【参加費支払締切 2014年2月4日（火）まで】

### 加盟大学・短期大学 先行申込期間

**2013年12月18日（水）** ～ **12月26日（木）**  
先行申込期間終了後も1月24日（金）まではお申し込みいただけます。

※大学コンソーシアム京都に加盟する大学・短期大学の教職員・学生の方を対象に、先行申込期間を設けています。加盟校以外の方は、1月8日以降にお申し込みください。  
なお、先行申込期間は、優先定員までの受付となります

## 参加費

所属	区分	シンポジウム分科会	情報交換会	シンポジウム分科会 + 情報交換会
加盟 大学 短期大学	教職員	3,000円	3,000円	6,000円
	学生	無料	2,000円	2,000円
非加盟 大学 短期大学 その他団体 企業等	教職員 一般	5,000円	3,000円	8,000円
	学生	1,000円	2,000円	3,000円

## 第19回FDフォーラム 企画検討ワーキンググループ

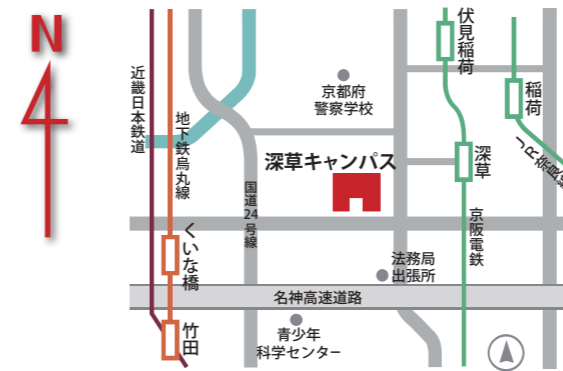
- ★長谷川 岳史 < 龍谷大学 経営学部 教授 >
- ☆坂井 岳夫 < 同志社大学 法学部 助教 >
- 飯吉 透 < 京都大学 高等教育研究開発推進センター 教授 >
- 内田 利広 < 京都教育大学 教育学部 教授 >
- 河原 宣子 < 京都橘大学 看護学部 教授 >
- 木野 茂 < 立命館大学 共通教育推進機構 教授 >
- 坂本 尚志 < 京都薬科大学 一般教育分野 講師 >
- 島本 晴一郎 < 京都文教大学 総合社会学部 教授 >
- 鷺見 朗子 < 京都ノートルダム女子大学 人間文化学部 教授 >
- 高橋 伸一 < 京都精華大学 人文学部 教授 >
- 畑田 彩 < 京都外国語大学 外国語学部 准教授 >
- 松戸 宏予 < 佛教大学 教育学部 准教授 >
- 耳野 健二 < 京都産業大学 法学部 教授 >
- 山下 勤 < 京都学園大学 経営学部 教授 >
- 山田 恵文 < 大谷大学 文学部 講師 >

★…委員長 ☆…副委員長

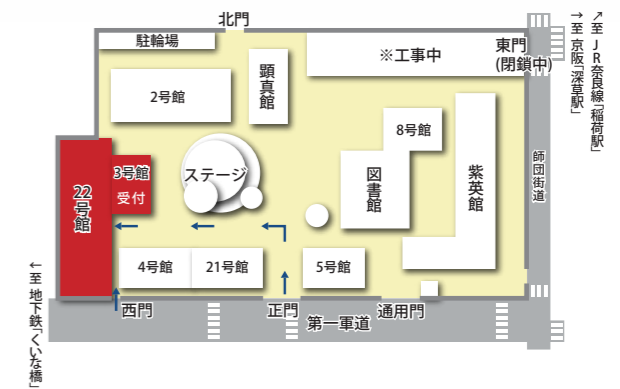
<https://event.consortium.or.jp/fd19/>

もしくは

## 会場へのアクセスマップ



## キャンパスマップ



## 龍谷大学深草キャンパスへのアクセス

出発地	経路	所要時間	乗り換え	到着地	所要時間
大阪 神戸 から	京橋	京阪電車 特急 約33分	丹波橋	深草	徒歩 約10分
	梅田	阪急京都線 特急 約40分	烏丸・四条	深草	徒歩 約10分
	大阪	JR 東海道線 新快速 約28分	烏丸・四条	深草	徒歩 約10分
東京 から	東京	JR 新幹線のぞみ 約2時間20分	京都	深草	徒歩 約10分
	関西国際空港	JR 特急はるか 約75分	京都	深草	徒歩 約10分
空路で	大阪(伊丹)空港	空港バス 約55分	京都	深草	徒歩 約10分
	京都	JR 奈良線 約5分	稲荷	深草	徒歩 約10分

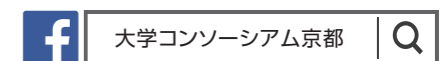
※ JR 稲荷駅及び京阪深草駅からの最寄の入口となる師団街道沿いの東門は、現在、キャンパス工事のため閉鎖しております。  
JR・京阪をご利用の際は、お手数ですが師団街道から第一軍道側に回り、正門よりお入りください。  
※学内には駐車場がございませんので、ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

## 宿泊施設の予約について

会場となる龍谷大学深草キャンパスにアクセスの良い宿泊先を宿泊施設予約サイトでご案内しております。大学コンソーシアム京都公式ホームページにある「第19回FDフォーラム」のご案内ページに、リンクを設けておりますので、そちらからアクセスしてお申し込みください。

※宿泊施設予約サイトは、外部のサービスを利用しております。このサービスを利用して発生したトラブルや損害等につきましては、大学コンソーシアム京都は一切責任を負いません。ご了承ください。

## お問合せ先



〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町 キャンパスプラザ京都  
高等教育研究推進事業部 FD フォーラム事務局

TEL : 075-353-9163※(日・月を除く 9:00 ~ 17:00)

FAX : 075-353-9101

E-mail : [fd@consortium.or.jp](mailto:fd@consortium.or.jp)

1 日目 2014年2月22日(土) 13:00~17:10 (受付開始 12:00~) ※シンポジウムはいずれか1つのみお申し込みいただけます。

# シンポジウム

## 京都発！地域社会まるごと 学習コミュニティ

—共に育ち、共に学び合う社会を創る—

### 3号館 3F 301 教室

定員：620名 優先定員：400名

「社会を生き抜く」ために、学生は自ら努力して力をつけていく。そんな頑張る学生を支え、次代を担う若者を育てるためには、教育機関だけでもがいていても始まらない。地域社会全体で、学生の力を伸ばし、共に学び合うコミュニティを創りたい。大学も地域社会と共に、お互いに工夫を凝らしながら学生が学びやすい環境を整えていくことが、今、求められているのではない。

そこで、本シンポジウムでは、行政と大学などの教育機関がそれぞれの持ち味を發揮して、どのようにコラボレーションしながら学生を育てていくか、そして、学生たちはどのように地域社会の中で生きているのか、いくつかの取り組みをご紹介いただき、学習コミュニティを地域で創り出すにはどうすればいいか、ここ大学のまち京都から情報発信したい。

# シンポジウム

## 未来を切りひらく 学生を育てるには

### 3号館 2F 201 教室

定員：330名 優先定員：200名

「社会を生き抜く力」とは、新たに提示された能力・資質ではなく、これまで提言された「課題探求能力」「学士力」「社会人基礎力」などと軌を一にし、初等中等教育段階において身につけるべきとされている「生きる力」の基礎に立つものであり、言い換えれば、予測困難な時代において「未来を切りひらく力」ともいえよう。

しかしながら、変化の激しい社会から大学に向けられる期待や要求が高まる一方で、これまで大学が抱えてきた課題、例えば学力低下や中退者問題などは改善されたといえるのだろうか。

本シンポジウムでは、大学で起こっている様々な問題とそのメカニズムについて現状を共有し、その上で、大学はどのように「未来を切りひらく学生」を育成することができるのか考えてみたい。

大谷 芳夫 氏 京都工芸繊維大学 理事・副学長



人間・環境学博士（京都大学）  
1995年 京都工芸繊維大学 助教授  
2002年 京都工芸繊維大学 教授  
2013年 京都工芸繊維大学 理事・副学長

【専門領域】  
実験心理学、知覚情報処理・知能ロボティクス、神経・筋内生理学、認知科学  
【主な活動・著書】  
日本色彩学会 評議員、関西心理学会 委員、電子情報通信学会 ヒューマン情報処理研究専門委員などを歴任  
『視覚心理入門』オーム社（2009年）  
『視覚的運動情報の検出と相互作用』日本心理学会・心理学モノグラフ（2000年）

堤 大地 氏 第11回京都学生祭典 実行委員会委員長  
立命館大学 政策科学部 3 回生



【京都学生祭典について】  
学生と産・学・公・地域が互いに連携して京都の魅力・学生の魅力を発信し京都を盛り上げる祭、それが京都学生祭典。毎年10月に平安神宮・岡崎公園一帯にて行われる学生が主体となって運営する全国的にも例をみない規模の「祭」です。11年目を迎えた今年度は、「織りなす縁と新たな挑戦」をコンセプトに活動してきました。京都学生祭典本祭に向けて、京都の大学に在籍する学生を中心に実行委員会を組織し、企画立案から協賛活動、広報活動まで幅広く活動しました。また、京都学生祭典本祭の運営、警備と共に、年間を通じた継続活動の実施や、地域の夜間パトロール、清掃活動など、地域の方との交流活動も行っています。

古瀬 ゆかり 氏 京都市総合企画局 市民協働政策推進室 大学政策担当部長

猪股 志野 氏 文部科学省 高等教育局 大学振興課 大学改革推進室長

コーディネーター

河原 宣子 氏 京都橘大学 看護学部 教授



2005年に京都橘大学看護学部 准教授に就任後、現在は京都橘大学看護学部 教授。  
「人によりそう看護」を創造し実践できる人材育成をめざした教育を実施している。

【専門領域】  
災害看護学、家族看護学、国際看護学  
【主な活動・著書】  
日本家族看護学会理事、日本災害看護学会理事の他、日本看護科学学会、日本看護研究学会等 10学会に所属。  
2005年には独立行政法人国際協力機構（JICA）の技術協力専門家としてウズベキスタン共和国に派遣。  
現在、防災・減災における家族看護の役割について訪問看護ステーションを拠点とした実践・研究活動を実施中。

山本 繁 氏 NPO 法人 NEWVERY 理事長、日本中退予防研究所 所長、中央教育審議会 高大接続特別部会 臨時委員



1978年東京都生まれ。  
2002年慶應義塾大学環境情報学部卒業と同時にNPO 法人 NEWVERY の前身となる団体を設立。

【主な活動・著書】  
NEWVERY は、若者たちが未来に希望を持てる社会づくりを目的に、高等教育、アーティスト教育、社会教育のイノベーションに取り組む非営利組織。主なプロジェクトは、大学・専門学校の教育力と問題解決力の向上支援を通じて中退抑制に取り組んでいる「日本中退予防研究所」。高校生が「フダン着の大学」に会いに行く進路発見プログラム「WEEKDAY CAMPUS VISIT」。学生をアクテブラーナーに変えられる大学教員養成プログラム「FD2.0」。本気で大学生活を充実させたい学生が集う学生寮「チェルシーハウス」（2014年3月OPEN）。地方出身の若手漫画家を支援する「トキワ荘プロジェクト」『京都版トキワ荘事業』。地域を若者の“学ぶ場”に変える「おとな大学」。中央教育審議会での報告を契機に、2012年7月から9ヶ月間、文部科学省・高等教育政策室の非常勤スタッフを務める。同9月からは中央教育審議会高大接続特別部会臨時委員。「つまずかない大学選びのルール」（ディスカヴァー・トゥエンティワン）、「中退予防戦略」（NEWVERY）「人を助けて仕事を創る」（TO エンターテインメント）、など

山内 乾史 氏 神戸大学 大学教育推進機構 大学院国際協力研究科 教授



1963年 大阪府生まれ。  
1991年 大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程中途退学  
1994年 神戸大学 大学教育研究センター 講師  
2005年 神戸大学 大学教育推進機構 大学院国際協力研究科 助教授  
2007年 神戸大学 大学教育推進機構 大学院国際協力研究科 准教授  
2009年 神戸大学 大学教育推進機構 大学院国際協力研究科 教授

【専門領域】  
教育計画論、高等教育論、比較教育学  
【主な活動・著書】  
日本教育社会学会、日本高等教育学会、日本比較教育学会などに所属  
2010年度前期全学共通教育ベスト・ティーチャー賞受賞  
『学生の学力と高等教育の質保証（1）』学文社（2012年）  
『「共通一次時代」は教育をどう語るのか』ミネルヴァ書房（2011年）  
『教育から職業へのトランジション—若者の就労と進路職業選択の教育社会学—』東信堂（2008年）など

土山 希美枝 氏 龍谷大学 政策学部 准教授



1971年北海道生まれ。  
2000年法政大学大学院社会科学部政治学専攻博士課程修了、博士（政治学）。  
2001年龍谷大学法学部助教授として着任、のち准教授、2011年から政策学部准教授。

【専門領域】  
公共政策論、政治学、地方自治  
【主な活動・著書】  
自治体学会 全国運営委員、日本公共政策学会 理事などを歴任  
『高度成長期「都市政策」の政治過程』（日本評論社・2007年）、「地域公共政策をになう人材育成」共編著（日本評論社・2008年）  
『対話と議論でくちなぎ・ひきだす』ファシリテート能力ハンドブック 共著（公人の友社・2011年）  
『「質問力」ではじめる自治体議会改革』共編著（公人の友社・2012年）など

コーディネーター

長谷川 岳史 氏 龍谷大学 大学教育開発センター長 経営学部 教授



1968年 埼玉県生まれ。  
1998年に龍谷大学に就任。文学部講師。  
文学部准教授を経て、2010年に経営学部へ異動。  
2011年より現職に加え、教学企画部長、大学評価支援室長。  
2012年より経営学部教授。

【専門領域】  
中国仏教学  
【主な活動・著書】  
日本印度学仏教学会、日本チベット学会、日本密教学会、日本仏教学会などに所属。  
日本私立大学連盟教育研究委員会 FD 分科会委員（2006年度～2008年度）、FD 推進会議運営委員（2009年度～2010年度）、FD 推進ワークショップ運営委員（2011年度～）  
大学コンソーシアム京都第19回FDフォーラム企画検討ワーキング委員長（2013年度）  
『唯識 さとりの智慧』春秋社（2011年）

# 情報交換会

22号館

17:30～19:00

